

市内253例目（県内550例目）の概要

令和3年6月13日公表

6月12日に実施した新型コロナウイルス感染症の検査の結果、新たに1名の方、市内253例目（県内550例目）となる感染者が確認されました。

この方は、松江市消防本部の職員です。勤務先の状況等につきましては、この後、松江市消防本部の堀江消防長からご説明いたします。

松江市在住であり、年代・性別につきましては、本人の意向により公表を差し控えさせていただきます。

253例目の方には特に症状はありませんでしたが、252例目の濃厚接触者として、6月12日にPCR検査を実施したところ、陽性であることが判明したものです。

同日、感染症対策を講じた県内の医療機関に入院されました。

検体採取日2日前、6月9日以降の感染可能期間に、市内の勤務先に出勤されていますが、業務を通じた市民との接触の機会はなく、聞き取り調査により勤務先等での接触者は把握できています。

検体採取日2週間前、5月28日以降の調査期間において、生活圏の範囲での県外移動歴はありません。

今後も調査結果を踏まえ、必要な検査を実施するなど、引き続き感染拡大の防止を図ってまいります。

松江市においては、先月までの感染拡大傾向が6月に入ってから一旦収束し、新規陽性者数も少ない状況となっています。

大切なご家族やご友人を守るため、また、感染の再拡大を防止するためにも、市民の皆様には、引き続き、感染防止の基本である「フィジカルディスタンスの確保」「手洗いの励行」「マスクの着用」のより一層の徹底や、「三密の回避」をはじめとする「感染しない、させない」ための取り組み強化へのご協力をお願い申し上げます。

発熱や咳、倦怠感など、わずかでも体調不良を感じたときには、まず「仕事や学校を休む」「かかりつけ医に相談・受診する」「積極的に検査を受ける」などが、感染拡大の防止につながる大切な行動です。

体調不良の時には、家庭内にあっても、部屋を分ける、マスクをつける、小まめな手洗いや換気、共用部分の消毒などの感染予防策をとるようお願い申し上げます。

なお、新型コロナウイルス感染症は誰でも感染する可能性があります。患者やその関係者また医療関係者を励まし、応援する思いやりの心を持っていただきますよう、重ねてお願いを申し上げます。